

令和7年度 可部学区地域運営委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・HPや広報、イベントへの参加等で可部LMOに対する認知度を高めることができた。
・コピーサービスの利用者増加や、HPへのバナー広告への取組を進め、自主財源確保の足掛かりを作ることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	可部夢街道まつり2025	(11)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月19日	
(2) 実施場所	県道240号線（明神公園～旭鳳酒造までの約1.2km）を中心とした周辺	
(3) 参加者数	5,500人	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まつり実行委員会	
4 取組内容	可部夢街道を中心とした町、学校、企業ぐるみの可部夢街道まつりは今年で3回目の開催となり過去最大の規模となった。今年の新たな取組として「可部夢街道を日本一夢が集まる街道にプロジェクト」を開始した。一部の夢街道沿いの店舗の軒先へ夢を描いた1400枚の短冊を飾り、可部夢街道沿いとその周辺に残る歴史ある町並みや、文化等に子どもから大人まで楽しめ、交流もできた内容となった。	
5 目的・効果		
(1) 目的	来場者に、失われつつある可部旧街道と周辺の歴史や文化に触れてもらうことで、今後の古民家の活用方法や歴史の伝承に繋げていくことを目的とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	上記の取組により、保育園から大学生までの若い世代にさまざまな形で参加してもらえたことで、広い世代において楽しみながら可部の歴史ある町並みや伝統文化の継承・保存に興味関心をもってもらえるきっかけとなった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	子供達と進める可部のまちづくりプロジェクト	(11) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年5月7日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	県道240号線(明神公園~旭鳳酒造までの約1.2kmを中心としたエリア)・花の散歩道	
(3) 参加者数	200人	
(4) 主催団体	可部夢街道まちづくりの会	
3 取組内容	(具体的に記入してください。)	
・年に1度開催する可部夢街道まつりには、花の散歩道を沢山の人に歩いて楽しんでもらう為に、プランターの花の植え替えをし、おもてなしをした。 ・近隣の保育所、小学生にプランターに飾る花看板を描いてもらい、散歩道で自分の描いた絵を探す微笑ましい姿にも出会え、地域住民と子供達が楽しめる場所となった。 ・可部夢街道沿に一輪挿しを地域住民と共に、各戸に飾り古民家の昔の佇まいと可部の歴史に興味を持ってもらえるように活動した。		
5 目的・効果		
(1) 目的 学校へ各地域の方々と出前授業をして、地域と学校と一緒に活動する事により、交流、歴史、文化を伝え、可部の町に愛着を持ってもらい、将来のまちづくりの担い手育成に繋げていくことを目的とする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 年に2回、花のプランターの土替、花苗の植え替、水やり作業を近隣住民と一緒に行うことにより、交流が生まれた。 また、1年に1度、近隣の保育園児及び小学生にプランターに飾る花看板を描いてもらうことにより、地域住民と子供達が自分の作品が飾ってあるのを喜び、楽しめる場所にもなった。 そして可部夢街道まつりでは、花の散歩道のプランターの花や看板、可部夢街道沿いの一輪挿しを沢山の人に観て歩いて楽しんでもらえた。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	可部の歴史を歩いて楽しむ (JR 可部駅自由通路メッセージボードの作成)	(11) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	可部駅連絡通路、可部駅西口広場	
(3) 参加者数	50人	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まちづくりの会	
4 取組内容	可部駅連絡通路には、広島市立可部小学校、広島市立可部中学校、広島県立可部高等学校、広島文教大学附属高等学校の生徒達による可部の思いを込めた絵が昨年より飾られており、この壁面をさらに魅力的にするため、インフォメーションを整備し、可部夢街道案内板を作成した。 また、広島県立可部高等学校生へ授業の一環として、可部駅西口広場の現地説明を行った。可部夢街道で活躍し、可部駅連絡通路に協力して下さった学校関係の生徒達には、記念の缶バッジを進呈した。そして可部駅西口広場モニュメントのポンプを災害用ポンプとして広島市から譲り受け、看板の作成を行った。	
5 目的・効果	(1) 目的 J R 可部駅自由通路を単に通行するだけの場所とせず、地域の子どもたちの発表の場所として活用し、可部駅西口広場のモニュメントにおいて可部の3大産業を表現することで、可部には長い歴史がある事を伝える。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 広島市立可部小学校、広島市立可部中学校、広島県立可部高等学校、広島文教大学附属高等学校の生徒達による可部の思いを込めた絵が昨年より飾られているため、目を引くようにインフォメーションを整備し、駅の入り口に案内板を掲げられるよう作成したことで、無機質だった I R 可部駅自由通路がさらに魅力的なものとなった。また、学校関係の生徒へ記念の缶バッジを進呈したことにより、生徒達の自己有用感や社会性を育むことができた。 さらに、災害用ポンプの認定看板を作成したことにより、地域に貢献できるモニュメントとなった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	可部の歴史を見て歩いて楽しむ（勉強会）	(11) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	御ちこ小路、出羽屋小路、旧可部貯蓄銀行、旧西村醤油、可笑屋、旭鳳酒造	
(3) 参加者数	30人	
(4) 主催団体	団体名 可部夢街道まちづくりの会	
4 取組内容	正徳時代（江戸時代）の可部の町図を基に小路名を入れた「可部夢街道まち歩き手引き」を作成し、小中高生対象をとして出前授業等で配布していたが、今年度は第2版印刷を機に一般向けに配布することとした。折り目を中心に、可部夢街道周辺の史跡や町並みを郷土史研究家と一緒に歩き、江戸時代から今日に至る町の変遷を学んだ。また、可部夢街道まつり冊子を作成し、開催した祭りの様子や、今でも残る可部の町並みを写真で残し今後の資料とした。さらに、祭りの参加者には記念の缶バッジと冊子を贈呈した。	
5 目的・効果	(1) 目的 正徳時代（江戸中期）の可部の地図を基に、可部の歴史を掘り下げて歴史と史跡、文化の大切さを知ってもらい、古民家を簡単に取り壊される事が無いように実際に居住している方に説明してもらうことにより、歴史の重み、存続の大切さを地域住民と共に周知してもらうきっかけ作りとなった。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 1789年には創業されたとされる可部の醤油屋旧西村醤油の当主の説明による、醤油蔵見学、旧貯蓄銀行の倉庫の内部見学、御ちこ小路、出羽屋小路と名前の付いた小路の意味、可笑屋、旭鳳酒造をめぐるにより、可部の歴史の奥深さを知り、益々可部の歴史、文化、遺構に興味を持ち歴史を伝えて行く事の重要性を認識してもらうことができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	明神社祭り	(11)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月26日	
(2) 実施場所	明神公園周辺	
(3) 参加者数	3,000人	
(4) 主催団体	団体名 明神社祭の会実行委員会	
4 取組内容	明神公園を中心に可部旧街道を歩行者天国として開放し、西側に屋台や商店を配置したことで、来場者が安全に歩行しながら買い物を楽しめる環境を整えることができた。 公園内には特設ステージを設置し、子どもダンス・神楽・和太鼓の演目を実施したところ、多くの来場者に楽しんでいただけた。 また、子ども神輿の実施により、子ども・保護者・地域住民が一体となる場を創出でき、町内会活動の活性化にも寄与した。	
5 目的・効果	(1) 目的 266年の歴史ある可部町を代表する祭りのひとつである「明神社祭り」を開催することにより、地域の活性化と歴史文化の保存・伝承を行うことができる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 歴史ある祭りを継続的に開催できたことで若い人たちも多く集まり、地域のにぎわいを醸成し、地域の活性化を図ることができ、未来を見据えた地域づくりにつながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	にこ ami ほほえみの会	(11)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	安佐北区総合福祉センター	
(3) 参加者数	76人	
(4) 主催団体	団体名 可部地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	高齢者や、一人暮らしの人を対象とした頭の体操・心の体操を通じて、楽しいひと時を過ごしてもらう。 ・11月12日（水）11時～14時 ステージ発表や催し物を開催	
5 目的・効果	(1) 目的 高齢化の進展により、外出しない高齢者も多いことから、外に出てもらうきっかけ作りを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 琴・サックスの演奏を聴くことにより、認知症予防や心の体操になった。 また「一人暮らしの高齢者の為の食事」の講演では、くたびれない食事作りで健康寿命を延ばし、健康づくりは食事から始まるという内容の指導を受け、手軽な調理方法などを学んでもらった。 生活についての相談は包括センターに申し込みができることを認知してもらうとともに、よりよい一日一日を過ごすことが健康で長生きにつながる事を学んでもらった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	にこ ami ママサロン	(11)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	勝円寺	
(3) 参加者数	38人	
(4) 主催団体	団体名 可部地区民生委員児童委員協議会	
4 取組内容	子育て中の親子を対象にしたサロンを行った。 子育て中の親子が気軽に参加できるよう、託児対応を取り入れ、フラワーアレンジメント、ティッシュケース作り、体操等のイベントを開催した。	
5 目的・効果	(1) 目的 核家族化等で子育ての悩みを相談できる場がなく、孤立しがちな子育て世代が、少しでも外に出ていけるような居場所づくりを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 民生委員の存在や活動を認知してもらうことができ、活動の後にお茶会をしたことで担当の民生委員の顔を知ってもらい、気軽に相談できる関係をつくることができた。また、母親同士も仲良くなりサロン後も交流をもたれるようになった。 民生委員は身近な相談相手であること、民生委員はいつもそばに居る事を知ってもらうことができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	大文字祭り	(11)事業中(8)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年5月24日 ～ 令和7年5月25日	
(2) 実施場所	高松山 高畑祇園神社境内	
(3) 参加者数	1,000人	
(4) 主催団体	団体名 高松神社大文字保存会	
4 取組内容	300年前から続く火難除け行事として、高松山山頂付近にて「大」の文字を、電球を利用して19時から献灯した。高畑祇園神社では可部小学生による餅まき等を予定していたが雨のため中止し、参拝者に手渡した。 また、根の谷川沿いには、「大」の文字が浮かぶ高松山の方角に向かって、小学生が作成したペットボトル灯籠が並べられ、高松山の「大」の点灯と同時刻に点灯開始する予定だったが、これも一日目は雨のため中止した。	
5 目的・効果	(1) 目的 かつて300年前に可部のまちに大火が発生し「大」の字型に焼けが広がったことから、火難除けを祈願して住民が奉納している伝統行事である。この伝統行事を後世に伝え残すことを目的として実施している。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 毎年、大文字祭りをを行うことで、可部の季節行事として老若男女に認知され、地域の活性化を図ることができたとともに、賑わいを創出した。地域外の方々にも訪れてもらっており、可部の地域の魅力を広く発信することができた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	可部地区サロン活動（福祉事業）	(11)事業中(9)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	各サロン開催場所	
(3) 参加者数	260人	
(4) 主催団体	団体名 可部地区社会福祉協議会	
4 取組内容	13サロンあるなか、1サロンの辞退があったので、12サロンに対して助成を行った。歳体操をはじめとしたさまざまな健康体操や茶話会、介護や福祉に関係する研修会、施設見学、スマホ等高齢者が苦手な分野の学び合い等、それぞれのサロンが工夫しながら取り組み、毎週開催する8サロンには1万円、月に1～2回開催する4サロンには5千円を助成し、合計10万円を助成した。	
5 目的・効果	(1) 目的 現在13サロンが活動中だが、サロン参加者やスタッフが高齢化し、運営がマンネリ化している。可部地区社会福祉協議会が開催するサロン交流会で他のサロンの事例発表を聴くなどしてサロン活動の活性化を図るとともに、少しでもサロンの充実を目指して高齢者の社会的孤立の防止、健康維持や介護予防、高齢者の生きがいがづくり、地域の見守り・支え合い等を促進させる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） サロン活動に参加することによって、高齢者の健康維持はもちろんのこと、人との交流が孤独感を軽減し心の安定につながった。また、顔見知りが増えることで、災害時や急な体調不良時に助け合いやすくなった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	地域のまつりイベント応援活動	(11) 事業中(10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	可部集会所	
(3) 参加者数	1, 000 人	
(4) 主催団体	団体名 可部学区地域運営委員会	
4 取組内容	祭りイベントの必須アイテムや、出店で活用するノンフライヤー、氷削り機、缶バッジ製造機、プロジェクターを可部LMOとして購入し、必要としている可部LMO構成団体に対して無料で貸し出しを行った。 【令和7年度貸出状況】 ノンフライヤー（0）、氷削り機（2）、缶バッジ製造機（1）、プロジェクター（0）	
5 目的・効果	(1) 目的 可部旧街道とその周辺及び各地域(各町内会等含む)で実施されるまつり等の来場者に対して、少しでも見て楽しむ機会を増やし、参加可能なまつり等の伝承に繋げていく事を目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 来場者自身がやってみる、経験してみる、親も一緒になって参加する(親子ふれあい参加型)地域まつりの楽しみや思い出が子どもたちの将来の可部愛にもつながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	可部第5公園地域コミュニティ活性化推進事業	(11) 事業中 (11) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	可部第5公園	
(3) 参加者数	1,200人	
(4) 主催団体	団体名 福王寺不動坂らくらくタクシー活性化協議会	
4 取組内容	年2回の開催を計画した。しかし、1回目（令和7年11月9日）はイベントとして可部中学校の吹奏楽の演奏を予定していたが、雨で中止となった。 2回目（令和8年3月20日）は、出店70ブース、キッチンカー4台、パトカー1台、PHV電動車椅子展示、イベントとして亀山子供神楽を上演した。	
5 目的・効果	(1) 目的 地元負担分を、ハンドメイドマルシェでの収益金として福祉事業の乗合いタクシーの継続に向けた運営資金に充てることで、地域の賑わいづくりを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 回を重ねるごとに来場者数も多くなり活動として定着してきた。 地元民の足としての乗合タクシー存続に向けて、このハンドメイドマルシェの収益の一部を寄付し、地域密着型の運行を支援することで、乗合タクシーの運営資金獲得だけでなく、老若男女の交流の場となり、地域の活性化に貢献することができた。 また、今後の乗合いタクシーの安定した運行の確保、地域コミュニティ活性化推進事業としての定着にもつながった。	

3 自主財源で実施した事業

特になし